

医療関係領域を中心に設定した 特別講義に対する学生の評価

金森 きよ子*1 芝 紀代子*2

[要 旨] 臨床検査分野の講義が大半を占めるカリキュラムだけでは医療人としての育成は出来ないと考え、更に視野を広げるという見地から本学臨床検査学科4年次後期に、医療関係領域を中心に栄養サポートチーム員、糖尿病療養指導士、開業歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、臨床工学技士、検査部医師、病院薬剤師、医療訴訟専門弁護士、元外交官の10名の講師で設定した特別講義10コマを行った。今後の特別講義のテーマ選択に活用する目的で記述式アンケートにより、学生が講義を聞いて将来において有意義だと思うかどうかを調査した。有意義度が一番高かったのは、医療訴訟専門弁護士で87.2%の学生が有意義であると回答した。その他80.0%を超えたのは、歯科衛生士86.6%、糖尿病療養指導士83.1%、臨床工学技士81.2%であった。有意義度が低かったのは元外交官の44.3%であった。看護師は今後聞いてみたい講師で一番多かった職種である。

[キーワード] 臨床検査技師、医療人教育、学生の医療人に対する意識、記述式アンケート

はじめに

本学科では4年後期は主に国家試験対策などの講義が中心となるが、豊かな人間形成を行う上で色々な領域の専門家から話を聞くことも学生にとって有意義になると考え、敢えて10コマの特別講義を組み入れてみた。講師は、臨床検査技師で栄養サポートチーム員、糖尿病療養指導士の2名、歯科関係で開業歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の3名、臨床工学技士、検査部医師、病院薬剤師、医療訴訟専門弁護士、元外交官の計10名である。

I. 目 的

学生が特別講義をどのようにとらえたかを調べ、

今後の特別講義のテーマ選択に活用する目的でアンケートをとった。

II. 実施内容

文京学院大学保健医療技術学部臨床検査学科の4年生、男子14名、女子66名の80名に対して2009年10月22日～11月26日、週1回1コマ(90分)行った。講義およびその内容の詳細を表1に示した。講義開始時に表2に示す記述式アンケート用紙を配布して、講義終了時に回収した。

III. 結 果

設問1の「本日の講義は将来において有意義だと思いませんか。」についての結果を図1に示す。①のはいと答えた割合が一番多かった講義は、医

*1 文京学院大学保健医療技術学部臨床検査学科 kanamori@hst.u-bunkyo.ac.jp

*2 文京学院大学大学院保健医療科学研究科

表 1 特別講義内容

	講師職種	講義テーマ	内容詳細
1	医療訴訟専門 弁護士	医療過誤訴訟と 裁判員制度	臨床検査技師の事故例、訴訟の流れ、裁判員制度
2	元外交官	人生の先人として	外交官時代の体験談、これからの日本
3	臨床工学技士	臨床工学技士とは	臨床工学技士の仕事、検査機器の紹介、心臓手術のビデオ
4	病院薬剤師	病院薬剤師業務と チーム医療	オーダーリングシステム、病院薬剤師業務、医療事故防止
5	開業歯科医師	歯科領域の話	歯の構造、虫歯の判定、インプラント、歯科矯正
6	歯科技工士	歯科技工士とは	歯科技工士の教育課程、海外の歯科技工士状況、 医療従事者としての誇り
7	歯科衛生士	歯周病と全身の 健康を考える	歯周病と糖尿病・メタボリックS・肥満・脳血管疾患・ 心疾患・口腔清潔度検査のセルフチェック(実技)
8	検査部医師	病院臨床検査技師 とチーム医療	検査相談室の実際、POCT コーディネータ、チーム医療
9	栄養サポート チーム員	NST について	NST の構成・業務・効果、栄養アセスメント、栄養療法
10	糖尿病療養 指導士	患者さんの自己管理を サポートできる人材育成	日本糖尿病指導士認定機構(CDEJ)の説明、各国の糖尿病、 食品のカロリー、糖尿病教育入院

表 2 アンケート用紙

4年特別講義授業アンケート	2009.11.12
学籍番号 _____	氏名 _____
1. 本日の講義は将来において有意義だと思いましたか。 ①はい ②いいえ ③どちらともいえない	
2. 1. で①はいと答えた方はどのような点ですか。	
3. 講義で印象に残っていることは何ですか。	
4. 今後どのような職業人の講義を聞きたいですか。	
5. 自由意見	

療訴訟専門弁護士の 87.2%であった。他に 80.0%を超えたのは、歯科衛生士 86.6%、糖尿病療養指導士 83.1%、臨床工学技士 81.2%であった。70%台は検査部医師の 78.1%、開業歯科医師の 77.1%であった。60%台は病院薬剤師 67.6%、栄養サポートチーム員 64.1%、歯科技工士 62.7%であった。

有意義度が低かった講義は、元外交官の 44.3%であったが、この講義に対しては③のどちらともいえないと回答した割合は 44.3%と多かった。

設問 2 の「有意義だと感じた有意義度の内容」を要約して分類した(表 3)。元外交官の講義で有意義と思った人は 44.3%と少なかったが、そのう

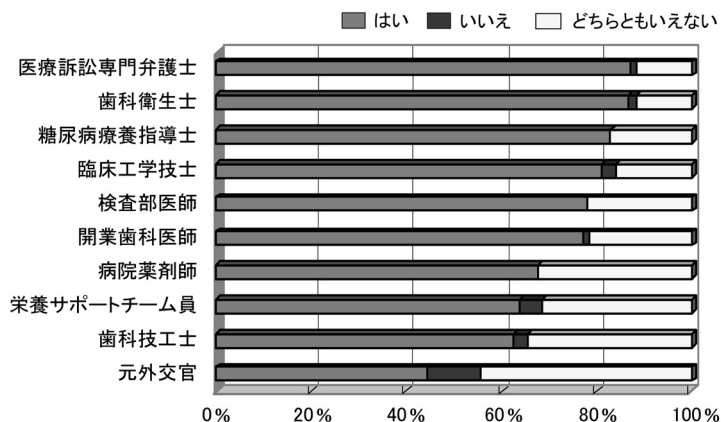


図1 特別講義の有意義度

表3 有意義度の内容

講師職種	有意義と思った人 (人)	有意義と思った人 (%)	内容詳細	%
医療訴訟専門弁護士	61	87.2	医療過誤訴訟が身近になった	68.8
			普段聞けない弁護士の話	31.2
歯科衛生士	45	86.6	自分の歯の健康に関心をもった	75.6
			歯周病のことが良く理解できた	24.4
糖尿病療養指導士	49	83.1	検査技師が参加できるので	40.8
			糖尿病療養指導士の業務について	32.7
			糖尿病について知ることができた	16.3
			自分の生活習慣について	10.2
臨床工学技士	56	81.2	臨床工学技士の仕事が良く理解できた	78.6
			チーム医療仲間としての臨床工学技士の存在を理解	21.4
検査部医師	50	78.1	チーム医療の大切さがわかった	40.0
			相談室のことが理解できた	34.0
			検査医の業務がわかった	26.0
開業歯科医師	47	77.1	歯科に関する知識(インプラント・虫歯など)が深まった	68.0
			自分の歯を守るために有効	29.8
			医療従事者としての幅が広がった	0.2
病院薬剤師	46	67.6	チーム医療仲間としての薬剤師	60.9
			薬剤師についてよく理解できた	39.1
栄養サポートチーム員	41	64.1	検査技師が参加できるので	53.7
			栄養の大切さがわかった	46.3
歯科技工士	42	62.7	歯科技工士の仕事がよく理解できた	45.2
			医療従事者として検査技師以外の職種は大切	42.9
			仕事に対するプライド	11.9
元外交官	31	44.3	自分の世界観が広がった	96.7
			外交官の仕事が理解できた	0.3

表 4 印象に残っていること

講師職種	印象に残っていること
医療訴訟専門弁護士	医療過誤訴訟の具体例と賠償、裁判員制度の問題点
歯科衛生士	口腔清潔度チェック(実技)、歯周病と全身疾患
糖尿病療養指導士	ファーストフードのカロリー、糖尿病教育入院
臨床工学技士	人工心肺について、チームバチスタ
検査部医師	POCT コーディネータ、スーパー臨床検査技師
開業歯科医師	インプラントの方法、歯の寿命、8020
病院薬剤師	チーム医療の必要性・重要性、スペシャリストとジェネラリスト
栄養サポートチーム員	NST における検査技師の役割、疾患ごとの様々な栄養療法
歯科技工士	日々感動を持って仕事をしている
元外交官	世の中は変わる、歴史を振り返ることが大切

ちの 96.7%の学生が自分の世界観が広がったとほぼ同じ感想を述べている。医療訴訟専門弁護士の講義では有意義と思った人の 68.8%は医療過誤訴訟が身近になったと述べている。歯科衛生士の講義では自分の歯に関心を持った学生が多く、臨床工学技士の講義では臨床工学技士の仕事が理解できたと述べている学生が 75%を越えた。糖尿病療養指導士、栄養サポートチーム員の講義では臨床検査技師が参加できるので書いた学生がそれぞれ 40.8%、53.7%であった。

設問 3 の「講義で印象に残っていることは何ですか」について表 4 に示した。医療訴訟専門弁護士の講義では臨床検査技師の採血ミス、血液型判定ミス、生理機能検査でのセクハラなど医療過誤訴訟の具体例と賠償をあげて説明をしたので裁判を身近に感じたこと、そして裁判員制度の問題点については、自分自身も裁判員に選ばれる可能性があるため関心が向けられていた。歯科衛生士の講義では、口中のアンモニアを簡易測定して口腔清潔度検査の実習を取り入れたのが印象に残っていた。糖尿病療養指導士の講義ではファーストフードのカロリーが高いことや糖尿病教育入院を挙げている。検査部医師の講義ではスーパー臨床検査技師になるにはどうしたらよいか、病院薬剤師の講義では、薬剤師は薬剤部にだけいるのではなく病棟にも出向くことやチーム医療の必要性を挙げている。栄養サポートチーム員の講義では栄養サポートチームにおける臨床検査技師の役割を

しっかりと考えること、そして元外交官の講義では世の中は常に変わっているので固執してはいけない、歴史を振り返ることも大切であると語ったことが印象に残っていることとして挙げている。

設問 4 の「今後どのような職業人の講義を聞きたいですか」では、21 職種が挙げられた。この中で圧倒的に希望が多かったのは看護師であった。続いて助産師、理学・作業療法士、診療放射線技師、医師(婦人科・麻酔科)であった。少数意見では音楽療法士、緩和医療従事者、医療ジャーナリスト、政治家、裁判官、宇宙飛行士、納棺師などであった。

設問 5 の「自由意見」について記載していたのは延べ人数 644 人中 152 人の 23.6%であった。

講義内容は興味があり有意義だが、開講時期が 4 年後期でなくもっと早くゆとりのある時期に実施してほしいとの意見が多くみられた。

IV. 考 察

設問 1 で一番有意義度が高かったのは、医療訴訟専門弁護士の講義であった。医療過誤訴訟の具体例をあげて説明をしたので学生が臨床検査技師になってからの自分のことと身近に感じ、専門家としての自覚と責任が必要であり、患者との信頼関係を築くことの大切さを痛感して有意義だと思う割合が多くなったと考える。

本講義では、歯は大切にしなくてはならないという考えから歯科領域から 3 講義を設定した。歯

の磨き方について簡単な実習をしてくれた歯科衛生士の講義を有意義に思った学生が 86.6%、歯科医師の講義では 77.1%と多くの学生が関心を示した。しかしながら歯科技工士の講義を有意義に思った学生は 62.7%と低かった。これは、学生はまだ義歯装着の必要性を感じられないためであろう。

小宮山ら¹⁾のアンケート調査では、糖尿病チームは医師、看護師、薬剤師、栄養管理士、臨床検査技師の 5 職種で構成されている施設が多い。学生にとって糖尿病療養指導士の資格が臨床検査技師も取得できることを初めて聞いたためか、糖尿病療養指導士の講義を有意義と思った人が 83.1%であり、そのうち臨床検査技師が参加できると答えた学生が 40.8%であった。またその業務を知ることができたことで有意義と感じた学生が 32.7%であったことから考えると、チーム医療人としての活躍の場が検査室のみではなく、チーム医療の一員としての位置づけもされており、事実活躍していることを知ってもらう意味からも、この人選は良かったと考えている。同じチーム医療として活躍している栄養サポートチーム員では、有意義と感じた学生が 64.1%とあまり多くなかった。これは検査と栄養がうまく結びつかなかったものと考えられる。

北里ら²⁾は北里大学で行っている「チーム医療プログラム」について、学生が考えたチーム医療人とは医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、社会福祉士であったと報告している。本アンケートでも臨床工学技士の講義を有意義に思った人が 81.2%と多かった。臨床工学技士の仕事を良く理解できたという学生が 78.6%、チーム医療仲間としての臨床工学技士の存在を理解したという学生が 21.4%であった。このことから、臨床工学技士の講義は今後も必要であろう。

病院薬剤師に対しては有意義と思った人は 67.6%とやや低かったものの、そのうちの全例がどんな職種か理解できたとしていることから考えると、今後も講義をしてもらう必要がある職種であろう。

松尾ら³⁾は病院検査部に従事している臨床検査

技師に対してチーム医療および職種間コミュニケーションに対する意識調査を報告しているが、コミュニケーションの必要性を感じているのは多い順に医師、看護師、薬剤師であった。本学学生の講義を担当している講師群には医師が比較的多いところから、医師の仕事を身近に感じているせいか、検査部勤務の医師の講義は特別講義の内容とは写らなかったようで、有意義度は 78.1%と低めであった。

三井ら⁴⁾は岡山県の病院の看護師、診療放射線技師、臨床検査技師計 652 名に対して医療現場における「チーム医療」の認識についてアンケートを行い、その結果を報告している。臨床検査技師 172 名の 96.5%の人は、チーム医療の内容を異業種間のカンファレンスととらえているところから、医療においてはチーム体制で臨むということは浸透しているようである。異業種からみてチーム医療を行うメンバーの職権を問う質問に対して看護師が医師をあげた比率は 98.8%と高率であるのに対して、臨床検査技師をあげた比率は 73.3%であった。一方、臨床検査技師がチーム医療を行うメンバーとして看護師をあげているのは 100%であった。同じ病院にいながら看護師からみると検査業務を行っている臨床検査技師はチーム医療人としての認識が低いことは残念である。本講義ではチーム医療というくくりの中から職種を選択しておらず、医療に係わりがある分野の人を選択したので、看護師に依頼しなかった。しかし、話を聞きたい職種のトップに看護師があがっていることから、学生時代にすでに看護師とはコミュニケーションをとる必要性を感じていると思われる。これは講師を選ぶにあたって貴重な意見で、次回からは看護師を加える必要性を実感した。

畑瀬ら⁵⁾は看護学生の職業意識に関する研究を報告している。その報告の結論をみると、看護職を目指す思いの程度は 1、2 年生では入学時より低下するが、3 年生で上昇している。これは入学後の初期より臨地実習をとり入れることが職業意識を高めることに有用であるとしている。本臨床検査学科では 1 年次は基礎学力の強化、2 年次から 3 年次前期では臨床検査の基礎となる知識およ

び技術の習得に力を入れており、3年次後期に臨地実習を行っている。本講義は4年次の後期に行ったが、国家試験勉強の時期と重なり、更にはこの時期には学生自身がすでに進路を決めているのもう少し早い時期での開講が望ましいと考えている。学生の意見としては3年次で本講義の受講希望者が多かった。やはり3年次の臨地実習に出る前で、しかも臨床検査とは何かがかなり分かっている時期ということで、今後は3年次前期にこの科目を設けることを考えている。

石川⁶⁾は新しいチーム医療の実現を目指した教育についての総説を書いている。それによるとより良いチーム医療を実現するには、学生の中から多職種でチーム医療を学ぶ教育が必要であると述べている。将来病院に勤務しチーム医療を支える人材を育成する学科において、学生教育の中に多職種の人からの講義を受けることは重要であると認識した。

また2008年の日本臨床検査医学会のシンポジウム2に現場が求める臨床検査技師教育が取り上げられ、司会の言葉で三村、岩谷⁷⁾は、現場が求める臨床検査技師として他の医療従事者との連携をとりながらチーム医療に貢献し、質の高い医療を国民に提供できる人材であるとしている。またこのような人材育成は、卒前教育においてその素地を養う必要があることから他業種の先生方からの講義は大変重要となるだろうと述べている。

アンケートの結果を踏まえて3年前期に本講義を開講して、講師には今回取り上げた職種のうちから関心の薄かった元外交官、歯科技工士、検査

部医師の代わりに、看護師、理学・作業療法士、診療放射線技師、栄養士などを選出したいと考えている。

文 献

- 1) 小宮山恭弘, 山下己紀子, 横山有子, 田上展子, 江後京子. 日本糖尿病療養指導士資格を有する臨床検査技師の現状と課題. 医学検査 2009; 58: 195-200.
- 2) 北里英郎, 大部 誠, 高橋伸一郎, 片桐真人. チーム医療教育プログラム. 臨床検査学教育 2009; 1: 26-31.
- 3) 松尾久昭, 山名琢薫, 諏訪部章. 臨床検査技師のチーム医療および職種間コミュニケーションに対する意識調査～大規模な検査現場へのアンケート調査の解析～. 日本臨床検査自動化学会誌 2010; 35: 1-16.
- 4) 三井明美, 島田明美, 谷口直子, 中村純子, 西川絵里, 田中大索, その他. 医療現場における「チーム医療」の認識—アンケート調査結果から—. 岡山大学医学部保健学科紀要 2002; 13: 25-36.
- 5) 畑瀬智恵美, 坂田三允, 紺谷英司. 看護学生の看護職を目指すという職業意識に関する研究—新設看護学科に入学した学生の看護職への意識の実態—. 看護総合 2010; 40: 357-8.
- 6) 石川雄一. 新しいチーム医療の実現を目指した教育—IPW(Interprofessional Work)教育—. 臨床検査学教育 2010; 2: 63-7.
- 7) 三村邦裕, 岩谷良則. 現場が求める臨床検査技師教育(1). 第54回学術集会 シンポジウム 2. 臨床病理 2008; 56: 600-1.